

令和 7 年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

山形県

行事名称	令和 7 年度第 3 回 山形市郷土館（旧済生館本館）消防訓練
実施期間・日時	令和 8 年 1 月 2 6 日（月） 1 0 時 3 0 分から 1 1 時 3 0 分
実施場所	山形市郷土館（国指定重要文化財 旧済生館本館）山形県山形市霞城町 1 番 1 号
主催者	山形市

■実施内容

訓練の想定

山形市郷土館（旧済生館本館）開館時間中に、自動火災報知機が作動し、事務室で執務中の郷土館職員が確認したところ、第 3 展示室内においてコンセントから発火し、火災が発生していたという状況を想定

訓練の内容

総合消防訓練として、郷土館職員による火災発見、通報、初期消火（消火器による模擬消火）、入館者の避難誘導を実施した。消防訓練後、消火器使用訓練（消防署員による使用方法説明）、AED 使用法講習及び消防車による放水訓練を実施した。

参加者及び役割分担

山形市郷土館職員（4名）：火災発見、通報、初期消火、入館者の避難誘導

山形市消防本部予防課職員（2名）：全体統括、立入検査、AED 使用法講習

山形市西消防署署員（4名）：放水訓練実施

山形警備保障株式会社警備員（1名）：現場立会（夜間等警備業務委託業者）

太平ビルサービス株式会社社員（2名）：火災報知設備操作、現場立会（消防設備点検委託業者）

山形市文化スポーツ部文化創造都市課職員（4名）：全体調整、記録、その他

特に工夫した点

外国人の来館者が増加しているため、火災発生のお知らせや避難指示、避難経路の案内などを知らせる多言語のカードなどを準備したり、火事触れをしながら逃げ遅れた入館者がいないか館内を確認する際に、確認済みの札を各部屋の入口に置きながら行うよう工夫をした。

問題点・課題

出勤している職員の人数が少ない時間帯に火災が発生した場合を想定した訓練をする必要がある。

その他

例年、文化財防火デーに合わせて消防訓練を実施することで、自衛防災組織の編成及び役割分担を再確認するとともに、火災からの入館者の人命救助及び文化財である旧済生館本館に対するより一層の防火意識の向上を図っている。

旧済生館本館では、1月の総合訓練のほか、5月及び10月にも総合訓練を実施している。

訓練風景

